

こんにちは 新社会党



委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2021年3月号

発行所：新社会党 発行者：岡崎ひろみ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 1ヵ月164円 150円 41円

http://www.sinsyakai.or.jp E-mail: honbu@sinsyakai.or.jp

フクシマから10年ーウソと虚構でできた原発は廃止へ！

核・原発と人類は共存できない

2011年3月の東京電力福島第一発電所の過酷事故から10年。原発事故の被害者、避難者の苦悩は未だ続き、かつての故郷と生活は戻っていません。また、電力会社の危うい原発管理の実態が数々露呈。それでも政府・電力会社は、原発の再稼働、原発電力のベース電源化を強行。さらに、国連の核兵器禁止条約は発効しましたが日本は不参加、未批准です。ヒロシマ、ナガサキ、フクシマの教訓を無視し続ける政府。改めて「核・原発と人類は共存できない」と声をあげましょう。

ガラス細工のポロポロ原発

政府・経産省は原発の安全神話の復活、原発の再稼働を狙っています。今年の夏に改定予定のエネルギー基本計画に対し、経産省の「有識者会議」では原発の価値の正当な評価と再稼働推進、加えて新規建設の議論もされています。とんでもありません。その論理はガラス細工でできたポロポロの原発安全神話の復活に他なりません。

ずさんでいい加減な原発管理

東京電力の柏崎刈羽原子力発電所7号機の安全対策工事が完了とされましたが、2月に消防設備工事の一部が未完了だったことが発覚。1月にも消火設備工事の未完了も判明しています。また、安全に必要な重要部品の品質管理試験の未実施も発覚。さらに去年9月に、東電社員がほかの社員のIDカードで不正に中央制

御室に入室した事件も明らかになり、東京電力のずさんな原発管理体制が明らかになりました。

実現不可能な避難計画

巨大な地震や台風などで大災害が原発を襲った場合に備え、原発立地自治体と30キロ圏内の自治体は、原発避難計画を策定する義務があります。現在、各自治体は原子力災害対策指針に基づき2018年3月時点で113の市町村が避難計画を策定しています。しかし、地震など自然災害の緊急事態では、家屋、道路、橋梁、避難所などの破損、避難経路の渋滞、輸送機関のマヒなどの事態の想定はあるものの、机上の計画であり、多くの識者からは安全な避難は不可能と指摘されています。

それでも札束で原発誘致

政府は2030年には全電力

量の20%から22%を原発発電に依存し、そのため40年も経過した老朽原発の再稼働を計画中です。

原発再稼働は原発立地市町村、道県の同意が必要です。政府・電力会社は原発立地の地元自治体に「電源立地地域交付金」等で利益誘導してきました。それが原因で、原発再稼働の是非を巡り、のどかな自治体の中で住民が分断されるなど、原発は大きな弊害をもたらしています。

また原発交付金は「麻薬」と指摘されています。一度受けた自治体は原発交付金に依存する財源構造となり、いつまでも抜け出せなくなるからです。

原発事故の想定が甘く、地震のたびに不安を抱える社会です。もっと声を上げ、菅政権の原発再稼働、原発推進と核政策を止めましょう。

(2面に原発被災者の声掲載)

核・原発と人類は共存できない



「週刊新社会」を読みませんか
新社会党中央本部機関紙/毎週火曜日発行
タブロイド版8頁/月600円 送料160円
〒100-0004 東京都千代田区千代田1-10-1 TEL: 03-6380-9962 FAX: 03-6380-9963 E-mail: honbu@sinsyakai.or.jp HomePage: http://www.sinsyakai.or.jp

菅内閣下の不祥事・疑惑 (2021年1月~2月)

氏名・該当者	問題事案	結果
元農水大臣 吉川貴盛	500万円賄賂受領 有罪判決	体調不良で 国会議員辞職
衆議院議員 河井案里	170万円配布 買収有罪判決	2月3日議員辞職
元国家公安委員長 松本純	緊急事態下 銀座で深夜飲食	自民党離党 国会議員辞職否定
文科副大臣 田野瀬太道	緊急事態下 銀座で深夜飲食	自民党離党 国会議員辞職否定
衆議院運営委員会理事 大塚高司	緊急事態下 銀座で深夜飲食	自民党離党 国会議員辞職否定
公明党幹事長代理 遠藤清彦	緊急事態下 銀座で深夜飲食	公明党離党 国会議員辞職
総務省・谷脇康彦、吉田真人 両総務審議官、秋本芳徳 前情報流通行政局長、湯本 博信前官房審議官	総務省関連会社の菅 総理の長男からの接 待	贈賄否定の処分 減給3カ月 (10分の2から1)
総務省・吉田恭子衛星課長・ 井幡晃三政策課長 奈良俊 哉内閣審議官	総務省関連会社の菅 総理の長男からの接 待	贈賄否定の処分 減給1カ月 (10分の1)
内閣広報官 山田真貴子	総務省関連会社の菅 総理の長男からの高 額の接待	国会招致・陳謝し辞 任否定・給与70万円 返納(2月25日時点)

腐った政権と官僚

政権幹部は上級国民か!

菅内閣が発足してから半年。内閣支持率は発足当時に比べて急降下。新型コロナウイルス対策の後手に加え、大臣や官僚の不祥事の数々が明るみに出て、今や政権末期の様相です。

“もういい加減にしろ”と叫びたいですね。自公政権はうんざりです。来るべき衆議院選挙に向けて、労働者、市民と野党が共闘し菅政権を打倒し政治の転換をはかりましょう。

安倍首相の139回のウソで固めた国会答弁を支えた当時の菅義偉官房長官。今や首相となり、安倍首相のウソと詭弁を踏襲し、国会で再びその手法を繰り返しています。特に怒りを覚えるのは、新型

ウイルスの緊急事態宣言下、庶民に自粛を強いる中、自民党・与党幹部が銀座で深夜まで飲食していたことです。その3名は自民党を離党しましたが、国会議員を辞職しませんでした。さらに、新たに発覚したのが衛星放送会社の役員である菅総理の長男らから

総務省幹部がたびたび会食接待を受けたことです。利害関係者の総務省と関連会社の幹部が会食すること自体が問題です。その上、無料で飲食、お土産やタクシー券を受けとっていました。そのため菅政権は贈賄事件になる前に火消しに走り、該当者の処分をしましたが、その直後に農水省でも同様な事実が発覚。あきれるばかりです。

安倍政治の腐敗を継承

菅内閣のルーツは安倍内閣です。安倍首相の通算在任日

数は3118日で憲政史上最長でした。安倍首相は「森友・加計・桜疑惑」を隠ぺいしたまま辞職しました。

菅内閣もその体質を受け継ぎました。これを解決するためには、この温床である自民党・公明党が選挙区を独占できる小選挙区制度を比例選挙制度に変えることです。また2014年に発足した「内閣人事局」により、官僚側が内閣の顔色をうかがう忖度が広がったことです。

今こそ庶民の怒りをぶつけ、政治を転換させましょう。

夢も希望も奪った原発事故

原発事故から10年、今もあの日の事が走馬灯のように頭の中をぐるぐる回っている。食堂を経営していたこともあり風を怖がっていた。開放され、夫婦で食事中に突然の雷のような音、大きな揺れ、外は近くの家のガラスが割れ、フロック扉が倒れるなど、この世の終わりのかと思った。その後「津波が来るぞ」と防災無線、急いで高台に避難したが家は無事だったため戻り一夜を過ごしたが、原発が爆発したために避難命令、阿武隈山間の集落へ避難しました。風の高い地域でありました。

現在でも帰還困難区域に指定されています。原発事故の収束には何十年、何百年なのか分からない。現在は会津若松市に住んでいます。ふるりの思いは強いです。

もう10年です。国・東電は原発事故に区切りを付けるような動きが見えるが、絶対許す事はできません。私たちは線量の高い所を逃げ回ってきたのです。国策で進めてきた原発の事故で避難しているのであり、ふるりを元に戻してくださいと願っています。

私も妻も高齢なので若い人について行くしかないのです。私が死んだらふるりの墓に入れてくれとたのんでいます。

(浪江町出身、会津若松市在住 鈴木宏孝)

新社会党機関紙「新社会」を読みませんか
月4回発行・タブロイド判・月額600円・送料168円

お問い合わせ先